

子ども・若者調査の実施について

1 目的

令和7年度に策定予定のこども基本法第10条に基づく「こども計画」の検討に当たり、子ども・若者の意識や生活状況等を把握・整理することを目的とした調査を行うもの。

2 こども計画と子ども・若者調査の関係について

こども計画は、少子化社会対策大綱、子供・若者育成支援推進大綱および子供の貧困対策に関する大綱の3大綱が一元化された「こども大綱」を勘案して作成するものであり、子ども・若者調査は、こども大綱のうち、特に子供・若者育成支援推進大綱による施策の対象であった子ども・若者のうち、学童期、思春期、青年期およびポスト青年期のこどもについて調査するもの。また、子どものいる世帯の生活状況に関する実態調査も別途行う。(資料3-2)

3 調査の概要

若者、高校生、中学生、小学生を対象に次のとおり調査を行う。

	若者調査	子ども調査
調査対象	青年期～ポスト青年期 ア 19歳～39歳男女3,000人 ※住民基本台帳から無作為抽出	学童期～思春期 イ 高校生(1～3年生) ウ 中学生(1～3年生) エ 小学生(4～6年生) オ 小学生(1～3年生)
調査事項	若者の意識や生活状況等	子どもの意識や生活状況等
回答方法	調査票の返送又はQRコードを読み取り回答	各自QRコードを読み取り、回答 (調査案内配布)
調査時期	令和6年10月	令和6年9月
設問数	20～25問程度	10～15問程度

4 調査票(別添のとおり)

「3 調査の概要」における調査対象に応じて、5つの調査票を作成。

- ア 若者調査票、イ 高校生調査票、ウ 中学生調査票、
- エ 小学生調査票(4～6年生)、オ 小学生調査票(1～3年生)

(参考) 若者調査と子ども調査の対応関係

調査		若者調査	子ども調査			
調査対象		19歳～39歳	高校生	中学生	小学生 (4～6年)	小学生 (1～3年)
分野	設 問	全22問	全15問	全13問	全13問	全10問
基本属性	性別	1	1	1	1	1
	年齢	2				
	同居者	3	2	2	2	2
	仕事	4				
	就業経験	5				
自己認識	自己認識(将来像含む)	6(16項目)	6(16項目)	3(5項目)	3(4項目)	3(4項目)
遊び・勉強・家事等の時間	普段の活動頻度・時間		4(8項目)	4(8項目)	4(6項目)	4(4項目)
居 場 所	自宅での時間	7				
	安心な場所(どのような)	8	5	5	5	5
	安心な場所(具体)	9	6	6	6	
悩みごと・相談	悩みごと、困りごと	10	7	7	7	6
	相談相手	11	8	8	8	7
	相談窓口の利用希望	12	9	9	9	
	希望しない理由	13	10			
	相談先に望むこと	14	11			
結婚への意識	婚姻状況	15				
	結婚希望	16				
	独身理由	17				
	理想の出会い方	18				
	出会いのきっかけ	19				
	結婚の利点	20				
	独身の利点	21				
こどもの権利	守られているか(4項目)		12	10	10	8
将来の夢、仕事	将来の夢や目標があるか		13	11	11	9
	将来どんな仕事がしたいか		14	12	12	
意見聴取	意見伝達の手法・手段	22	15			
	言いたいこと・伝えたいこと			13	13	10